

— 目 次 —

■170万県民の健康づくりを考える

- あなたは健康ですか..... 8
設問インタビュー
- 現代生活と健康について..... 沢田芳男..... 10
- 児童生徒の体力・運動能力比較..... 12
- からだの健康づくりへの県の施策
医療サービス..... 15
公害監視..... 16
体育・スポーツ..... 26
- ころの健康づくりへの県の施策
社会教育の拡充..... 27
青少年の健全育成..... 28
- 自然との交歓と環境整備
菊池溪谷「野鳥の森」..... 29
南阿蘇外輪山自然歩道..... 30
南阿蘇国民休暇村..... 30
国民休養地..... 30
青少年旅行村..... 31
小岱山森林公園..... 31
雁回山憩の森..... 32
大規模自転車道..... 32
- 〈この人と30分〉
京都産業大学総長 荒木俊馬..... 33
- 熊本の経済..... 山崎 良也..... 36
開けゆく県経済に思う
- わが町・わが村 〈菊池郡菊陽町〉..... 25
- グラビアページ
〈ふるさとの心〉大津街道筋..... 3
へき地住民の健康を守ろう..... 17
青少年のための健全育成..... 18
カラー熊本..... 20
中学校のスポーツの祭典..... 22
人と車の調和をめざす..... 23
消防マンの技術大会..... 37
自然を美しくしましょう..... 38
- 随 想 欄..... 6
小此木通孝・本田節子・田口嘉津義



表紙は「板相撲」桐の板切れを小刀でけずった素朴なもの、この玩具の面白さは動作にあります。(八代市日奈久町)



▲遠くの家並が屯田兵部落「鉄砲小路」



▲宮本武蔵の墓所として有名な武蔵塚

大津街道筋

熊本の屯田兵部落であった「鉄砲小路」は菊池郡菊陽町堀川に残っています。

ここから南の方を眺めると、一キロメートル程先にある大津街道を一望に見わたすことができ、街道の守りをかためるのうつつの場所であったことがわかります。

「鉄砲小路」は寛永年間、細川忠利公によって設けられたもので、豊後(大分)方面から熊本城へ攻め寄せた敵軍をここで阻止するの目的でした。

北側に住宅、南側に収納小屋が配置され、その間に三・六メートルの道路が通じていますが、当時はこのような家が東西四キロにわたって百四十戸も細長く並んでいたわけです。

北側の住宅が屯田兵舎で十五間(二七・二メートル)間隔で整然と並んで建てられています。

部落民は戦闘のない平和時には農耕に励み、非常の際には鉄砲隊を組んで戦ったものですが、その時の銃や刀などの武器が農具とともに家宝として各戸に残されています。

また、大津街道の杉並木も戦術上重要なものであったらしく、ある説によると、一定間隔に植えられた杉が兵力を計る物差し役目をしたといわれています。

敵軍が進軍してくる際、幾本の杉と杉の間を満たしているかというのでおおよその人数を知ることができたわけです。

大津街道沿線には、剣豪宮本武蔵の墓所として有名な武蔵塚もあります。

宮本武蔵(新免武蔵)は、寛永十七年(一六四〇年)八月、細川忠利公の招きによって来熊し、五年後に六十二歳で亡くなりました。

武蔵は、恩顧を受けた藩主の参勤交代の無事を草葉のかけから祈りたいと生前から希望していたということで、この地が選ばれたといわれます。